
(前期) 3年次・選択／保健師コース必修

【概要・目標】

1年次に学んだ「健康科学」を基礎にして、健康教育論では健康教育実践者になるために必要なことを習得する。

まず各自の健康観を確認し、健康教育対象者に育てたい健康の概念を明らかにする。実践する際は、対象者の実態を把握、理解し、出てきた課題から目標を設定し、考えや行動をより良い方向に変えるために必要な教育計画を立て、実行、評価するプロセスを理解する。

【授業内容・スケジュール】

- 1) 健康教育の必要性
健康管理と健康教育
- 2) 健康教育の目標
健康の概念
社会の要請と目標の変遷
生涯を通じての健康づくり
- 3) 健康について考える
各自が考える健康を自由に描き発表する
対象者に育てたい健康を考える
- 4) 健康教育方法
- 5) 健康教育活動の実際 (1) 学校保健
- 6) 健康教育活動の実際 (2) 地域保健・産業保健
- 7) 健康教育の評価 (PDCA サイクル)
計画－実施－評価－改善
健康教育まとめ

【評価】

試験 (60%)、レポート (0%)、小テスト (0%)、発表 (10%)、提出物 (20%)、出席状況 (10%)、参加態度 (0%)、その他 (0%)

【教科書】

資料を配付

【推薦参考図書】

国民衛生の動向 (2年次に「公衆衛生学」で使用)

城・宮下・武田編「エビデンスにもとづく公衆衛生学」培風館 2017 (1年次に「健康科学」で使用)

【その他】

1年次に習った「健康科学」を復習しておくこと

(前期) 3年次・選択

【概要・目標】

薬理学各論として、疾病の予防・診断・治療に用いられている薬物の適切な臨床使用を補助することができるようになるために、代表的な薬物の効果と有害作用、薬としての位置づけを理解する。

【授業内容・スケジュール】

薬理学各論 (2)

- 1) ~ 2) 中枢神経に作用する薬物
 - 3) 末梢神経系に作用する薬物
 - 4) ~ 6) 心臓・血管系に作用する薬物
 - 7) 呼吸器・消化器・物質代謝に作用する薬物
 - 8) 消毒薬、(救急の際に使用される薬物)
-

【評価】

試験 (75%)、レポート (0%)、小テスト (10%)、発表 (0%)、提出物 (0%)、
出席状況 (10%)、参加態度 (5%)、その他 (0%)

*その他…

【教科書】

吉岡充弘 他：系統看護学講座「薬理学」医学書院

【推薦参考図書】

田中千賀子 他：「NEW 薬理学」南江堂
野元正弘 他：「薬がみえる vol.1」Medic Media
弘世貴久 他：「薬がみえる vol.2」Medic Media
福本陽平 他：「薬がみえる vol.3」Medic Media
渡邊裕司 監訳：「臨床薬理学」丸善

【その他】

メールアドレス tomoen@wakayama-med.ac.jp (西谷)
matsuzak@wakayama-med.ac.jp (松崎)

（前期）3年次・選択

【概要・目標】

健康を維持・促進し、疾病を予防・緩和するための第三の医療として、癒しの智と技法に注目が集まっている。この講義では、看護ケアとしての癒しの技法「ストレスマネジメント」を学ぶ。人々がより良く生きることを目的として、ストレスマネジメントプログラムに参加し、セルフケア技術としての癒しのテクニックを習得するプロセスを、受講者は体験的に学ぶ。考え方の修正やリラクゼーション法の習得といった、認知-行動的介入の理論と実際を、実際に体験しつつ学んでもらいたい。

- 目標 1) 「癒しとは何か」を考え、科学的根拠に基づいた癒しの技法を習得する。
2) 健康の維持・促進、疾病予防・緩和に、癒しの技法を実践できる能力を養う。

【授業内容のスケジュール】

- 1) 看護における癒しと代替医療
医療行動科学、EBM・EBS、代替医療、スピリチュアリティ
子どもの病気、子どものストレス、患者に必要な癒し、看護師のメンタルヘルス
- 2) 行動科学からみた「癒し」：ストレスマネジメント
ストレスと病気、精神神経免疫学、自律神経系のコントロール、セルフケア
- 3) ストレスマネジメントの理論と実践
セリエの学説、ラザラスの理論、認知行動的介入としてのストレスマネジメント教育
- 4) ストレスマネジメントの実際 (1) 認知と対処への気づき、修正プログラム
ストレスドック、論理的思考、タイムマネジメント
- 5) ストレスマネジメントの実際 (2) リラクゼーション
自律訓練法、イメージ法、催眠、筋弛緩法、瞑想法
- 6) ストレスマネジメントの実際 (3) アクティベーション
有酸素運動、アクティベーションと免疫・気分
- 7) ストレスマネジメントの実際 (4) ストレス緩衝要因への介入
タフネス性格、ストレス性格（タイプA、タイプC行動パターン）
自尊感情、自己主張、ジェンダーアイデンティティ、ソーシャルサポート

【評価】

試験 70%、提出物 30%

【教科書】

「ストレスしのぎ辞典」、GAS 研究会

【推薦参考図書】

服部祥子・山田富美雄監訳「包括的ストレスマネジメント」医学書院 2006

【その他】

メールアドレス yamada@tamateyama.ac.jp

<https://www.psychologist101.com>

学齡期の保健

宮井 信行 教授

五十嵐 裕子 非常勤講師

内海 みよ子 非常勤講師

(後期) 3年次・選択

【概要・目標】

発達発育期にある児童・生徒の健康について実態を把握し、学校と家庭・地域社会の役割と連携の重要性を学び、健康教育・健康管理・安全について理解を深める。

- 1) 学校という組織体の中で学校保健の意義と目的を理解する。
- 2) 養護教諭の特性と役割について理解する。
- 3) 健康教育の推進の必要性について、その実際を学習する。
- 4) 救急処置の基本的な意義と、養護教諭の的確な判断と処置方法について学ぶ。
- 5) 地域の特性、学校規模と特色などを踏まえたうえで、学校保健活動の実際を学習する。

【授業内容のスケジュール】**(担当)**

- | | |
|------------------------------|-----|
| 1) 発達発育期にある児童・生徒の現状理解と課題 | 内海 |
| 2) 学校保健の意義、学校保健の内容 | 内海 |
| 3) 学校保健関係職員の役割、保健室の機能 | 内海 |
| 4)～7) 学校保健活動の実際 | 五十嵐 |
| 学校保健活動の現状と課題 | 五十嵐 |
| 8) 児童生徒の心身の発達と健康 | 内海 |
| 9) 児童生徒・教職員の健康診断(意義、方法、事後措置) | 宮井 |
| 10) 学校環境の衛生管理 | 宮井 |
| 11) 12) 院内学級における児童生徒の保健 | 内海 |
| 13) 感染症対策、救急処置、学校安全 | 内海 |
| 14) 健康教育、健康相談 | 内海 |
| 15) 学校保健計画・学校保健組織活動 | 内海 |

【評価】

学習目標達成度(試験、レポート)に基づき評価する
五十嵐:試験(90%)、提出物(0%)、出席状況(10%)

【教科書】

授業時に資料を配付する

【推薦参考図書】

「新版・養護教諭執務のてびき 第9版」植田誠治・河田史宝他監修 東山書房

「新養護概説<第8版>」采女智頭江編集代表 少年写真新聞社

【その他】

連絡先: miyain@wakayama-med.ac.jp (宮井)

(後期) 3年次・選択

【概要・目標】

地域で生活する高齢者の健康を維持するための様々な取り組みについて学ぶ。特に、介護予防や認知症予防、認知症高齢者の支援活動、巡回保健事業などの取り組みについて学ぶ。介護予防教室の企画・実施・評価を通して、一連の過程を理解する。

- 1 高齢者自身の健康維持のための主体的な取り組みを理解する。
- 2 地域における介護予防や認知症予防の活動について学ぶ。
- 3 地域における高齢者の健康維持のための看護職の活動について理解する。
- 4 地域における介護予防活動の実際を学ぶ。

【授業内容のスケジュール】

	(担当)
1) 介護予防とフレイル	服部
2) 介護予防施策の動向と概要	弓庭
3) 地域における巡回保健事業への取り組み	弓庭
4) 地域における認知症予防の取り組み	弓庭
5) 地域における世代間交流の取り組み	弓庭
6) ~ 7) 介護予防教室の企画	服部・丸岡
8) ~ 12) 介護予防教室の準備	服部・丸岡
13) ~ 14) 介護予防教室の発表	弓庭・服部・丸岡
15) まとめ	服部・丸岡

【評価】

授業目標達成度 (60%) 授業・演習への参加態度 (20%)、発表 (10%)、提出物 (10%)

評価責任者：服部園美

【教科書】

使用しない

【推薦参考図書】

- 葛谷雅文, 雨海照祥編集「フレイル-超高齢社会における最重要課題と予防戦略」医歯薬出版会社 2014
- 山口春保「認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント」共同医書出版社 2010

【その他】

(後期) 3年次・選択

【概要・目標】

(概要) リエゾン精神看護とは、一般診療科(身体科)の患者の心の健康問題(抑うつ状態、不安、トラウマ体験など)に対し、精神看護の知識と技術を用いて看護を展開することである。リエゾン精神看護学 I では、心の健康問題を有する身体疾患を持つ患者の精神状態の査定、介入方法について具体的な事例を用いて学ぶ。

(目標) 患者の精神状態を査定、問題を明確にすることで、患者の精神的諸問題に対し早期発見及び早期介入ができることを目指す。また、その精神的諸問題に介入することで患者の不応を最小限に抑え、身体疾患の治療の長期化を予防することを目指す。

【授業内容・スケジュール】

- 1) リエゾン精神看護の概要について、コンサルテーションのタイプについて
 - 2) ストレスの基礎知識、精神状態の査定
 - 3) ① 抑うつ気分が強い患者の看護
 - 4) ② 不安が強い患者の看護
 - 5) ③ がん患者の精神的諸問題の特徴とその看護
 - 6) ④ 周産期のメンタルヘルス
 - 7) ⑤ 惨事ストレス、トラウマケア
 - 8) ⑥ 虐待及び Domestic Violence の被害者の身体的アセスメントの方法
法医学の立場から(法医学:近藤教授)
-

【評価】

試験(70%)、授業への参加状況(30%)

【教科書】

随時資料を提示する。

【推薦参考図書】

- ・武用百子編著:リエゾンナースと考える「困りごと」にどうかかわるか, ナースツールズ, 2011.
 - ・野末聖香編:リエゾン精神看護 患者ケアとナース支援のために, 医歯薬出版株式会社, 2004.
 - ・野末聖香, 宇佐美しおり編著:精神看護スペシャリストに必要な理論と技法, 2009.
-

【その他】

メールアドレス momo-bu@wakayama-med.ac.jp